

復元工事の概要

復元工事施工者 株式会社 藤木工務店
興和電業有限会社

着 工 昭和 55 年 12 月 17 日

完 工 昭和 56 年 3 月 31 日

総工事費 46,391,000 円 内 (国庫補助金 7,000,000 円)
県 " 2,333,000 円)

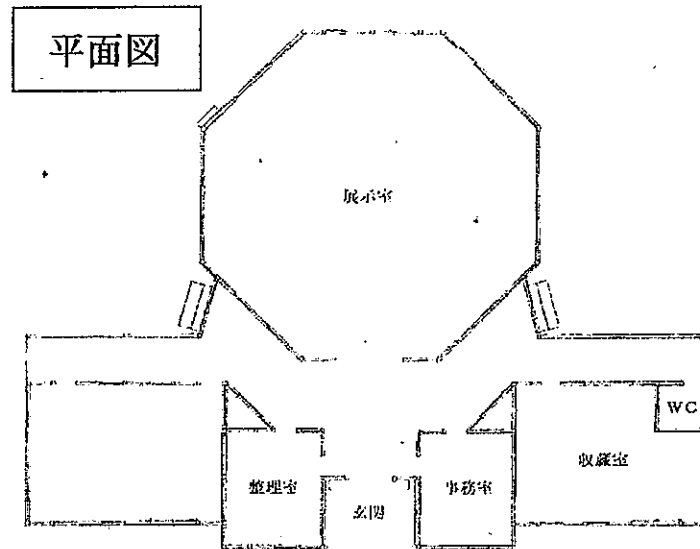
建物面積 307 m²

内 展示室 134 m²

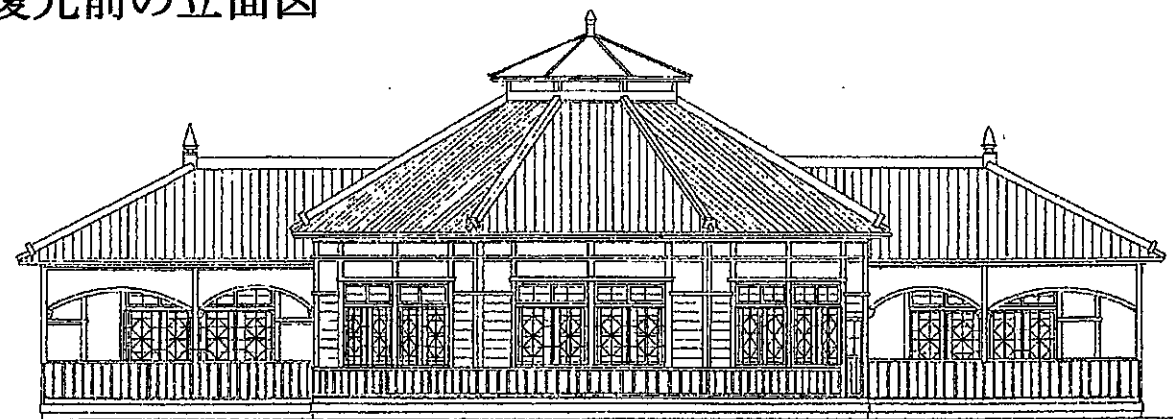
収蔵室 39 m²

整理室 14 m²

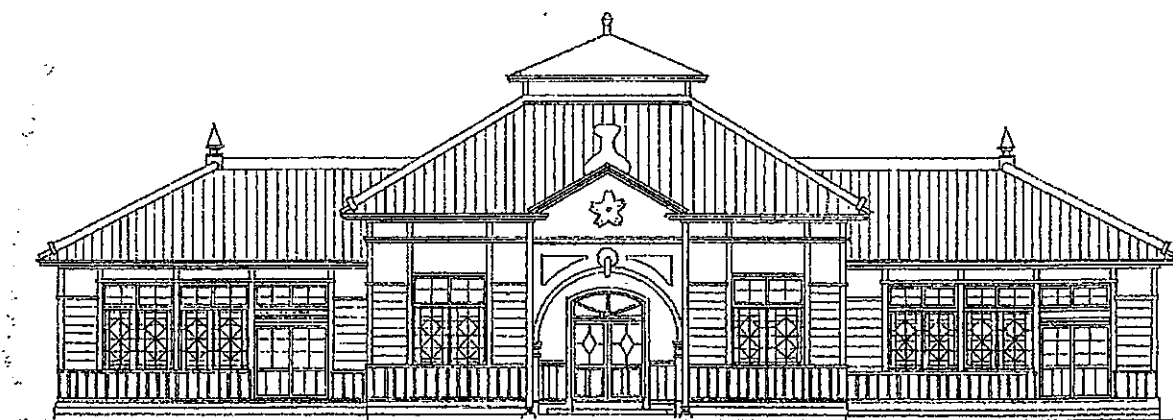
事務室 14 m²



復元前の立面図



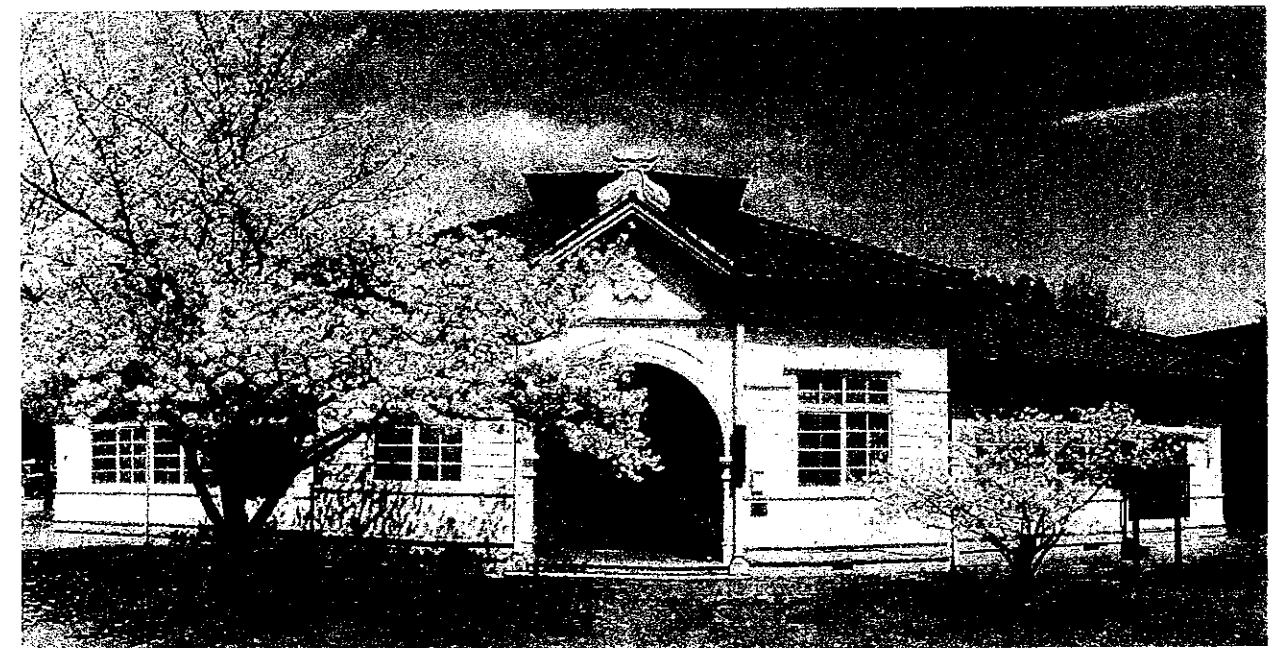
北側立面図



南側立面図

登録有形文化財

倉敷市歴史民俗資料館



倉敷市西中新田 6 6 9 番地

TEL (086) 422-7239

入館案内

開館時間 午前 10 時～午後 4 時

休館日 毎週月曜日（月曜が祝日のときは翌日）、12 月 28 日～1 月 4 日

入館・使用のきまり

木造建築ですので、消防法により館内での火気の使用や喫煙はできません。

次のような場合は、入館又は使用を制限することがあります。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は展示物等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的としているとき。
- (4) その他、館の管理上支障があるとき。

主な展示内容

- 「倉敷の幼稚園教育のうつりかわり」 公立幼稚園を中心に
- 「教科書で見る学校教育のうつりかわり」 幕末から現代まで
- 「読み書きそろばん事始め考」 入門期、国定教科書のうつりかわり



展示室の様子

倉敷市歴史民俗資料館とは

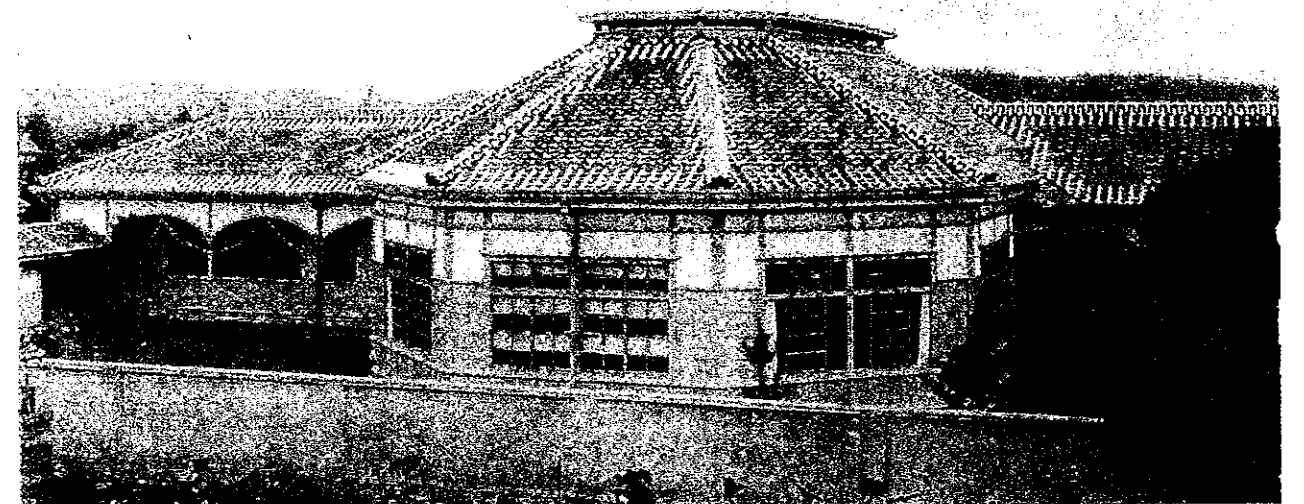
郷土の歴史、民俗、教育等に関する資料を収集し、保存・展示して市民の利用に供し、教養の向上、調査研究に資するためのものです。

建物の由来

この建物は、大正 4 年 10 月に倉敷幼稚園（創立明治 29 年）の園舎として竣工し、昭和 51 年 8 月に解体されるまでの 60 年余り使用されたものです。

落ち着いた玄関の構え、曲線美を取り入れた廊下の垂れ壁、美しい八弁花模様の天井をもつ遊戯室、ドイツヘルメット状の棟飾り、玄関棟瓦に取り付けられたユーモラスで楽しい雰囲気「きんちゃく」など、洋風建築をしのばせる園舎として有名でした。特に八角形の遊戯室は、内部に支柱を使わず機能性を追求したものとして、現存するものでは全国唯一の特色ある建築様式を誇っています。さらに保育室と廊下を前面に、遊戯室を後方に配置することによって、動線の短縮や静と動の分離を図るなど、保育方法の改善を物語るものとして幼児教育史上にも貴重な建物です。

正面のさくらの紋章から「さくら幼稚園」の愛称で親しまれ、解体にあたっては保存を望む声が多く、倉敷市としても市庁舎の東に「倉敷市歴史民俗資料館」として残すこととなり、国や県の補助を得て総工費 46,391,000 円（延面積 307 m²）をもって、昭和 56 年 3 月 31 日に復元されたものです。



大正 4 年新築当時の倉敷幼稚園舎全景